



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 ゴールドウィン

上場取引所 東

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,275	10.6	2,155	38.2	2,877	5.5	2,591	3.4
24年3月期第3四半期	35,510	13.6	1,559	91.7	2,725	40.1	2,507	86.3

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 2,732百万円 (27.7%) 24年3月期第3四半期 2,139百万円 (166.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	44.15	43.94
24年3月期第3四半期	43.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	49,451	19,933	40.0	338.07
24年3月期	43,444	17,620	40.2	297.56

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 19,773百万円 24年3月期 17,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	10.0	1,700	50.3	2,700	△18.7	1,900	△27.3	32.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	59,103,218 株	24年3月期	58,851,218 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	612,932 株	24年3月期	218,068 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	58,696,462 株	24年3月期3Q	58,274,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 追加情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気は緩やかな回復の兆しはあるものの、やや沈静化したとはいえ欧州での金融不安が依然続いていることや中国経済の成長鈍化による世界経済の減速もあり先行き不透明な状況で推移しております。スポーツアパレル業界におきましても、個人消費の持ち直しなどの動きも見られるものの全般的に依然厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、鋭意その遂行に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、販売効率の改善が進んだこと、また11月以降気温が低下し例年になく厳冬となったことにより防寒衣料の販売が堅調に推移したこと等もあり、売上高は前年同期比増収となり、損益面におきましてもそれぞれ前年同期比増益の結果となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高39,275百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益2,155百万円（前年同期比38.2%増）、経常利益2,877百万円（前年同期比5.5%増）、四半期純利益2,591百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期と下半期の業績に季節的変動があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に著しい相違があります。

報告セグメントの概況は、次のとおりであります。

（アウトドアスタイル事業）

「ザ・ノース・フェイス」ブランドについては、気温の低下とともにダウンウェア・通年型アウターやパック・ザック類の販売が順調であったこと、また直営店の新規出店および既存店の改装効果もあり、好調に推移致しました。「ヘリー・ハンセン」ブランドについては、ファイバーパイル素材のフリース商品の販売が堅調に推移しております。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比8.7%増の18,526百万円となりました。

（アスレチックスタイル事業）

「チャンピオン」ブランドについては、直営店舗およびショップインショップなどのコーナーを通じた新ラインの拡販が順調に推移、その他販路においてもウォームアップ等の商材が前年に引き続き好調に推移しております。

「スピード」ブランドについては、競泳系水着は市場低迷によりやや低調な推移となっておりますが、フィットネス系およびトレーニング系水着は堅調に推移し市場シェアを伸ばしております。また2011年11月に連結子会社化致しましたゴルフウェア販売会社ブラックアンドホワイトスポーツウェア株式会社の売上が加算されました。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比24.6%増の13,581百万円となりました。

（アクティブスタイル事業）

ウインター関連商品の店頭立ち上げはほぼ例年並みに推移する一方、モーターサイクルウェアなどの通年型商品群が堅調に推移しております。しかし、「スコット」ブランドの自転車事業については2012年11月末をもってスコット社との契約が終了したこともあり、売上が減少しております。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.5%減の4,137百万円となりました。

（その他事業）

厚生労働省が定める「一般医療機器」の基準をクリアしたコンプレッションアンダーウェアを主軸とする「C3fit（シースリーフィット）」は商材を拡張し堅調に推移しておりますが、加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材『マキシフレッシュプラス』を採用した「MXP（エムエックスピー）」のアンダーウェア等は競合商品の増加により店頭消化が停滞しており売上減少しております。また、ハイテックウェア事業も半導体産業の落ち込みにより引き続き厳しい販売状況が続いております。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.8%減の3,030百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は49,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,007百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,694百万円増加し、29,517百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加315百万円、借入金の増加3,076百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,313百万円増加し、19,933百万円となりました。その結果、自己資本比率は40.0%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年11月9日発表の予想数値から大きな変更点は無く据え置くこととします。今後の業績推移に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には、速やかに開示を行う方針であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,798	9,957
受取手形及び売掛金	11,167	12,853
商品及び製品	8,884	8,408
仕掛品	108	97
原材料及び貯蔵品	688	728
その他	1,513	943
貸倒引当金	△20	△17
流動資産合計	28,141	32,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,786	1,709
土地	828	847
その他（純額）	980	1,136
有形固定資産合計	3,596	3,692
無形固定資産		
商標権	114	86
その他	815	692
無形固定資産合計	929	778
投資その他の資産		
投資有価証券	7,661	8,639
差入保証金	2,156	2,140
その他	1,289	1,555
貸倒引当金	△329	△326
投資その他の資産合計	10,776	12,009
固定資産合計	15,302	16,480
資産合計	43,444	49,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,011	13,326
短期借入金	646	4,800
1年内償還予定の社債	32	32
1年内返済予定の長期借入金	1,898	1,595
未払法人税等	139	188
賞与引当金	676	351
返品調整引当金	497	619
その他	2,280	2,647
流動負債合計	19,181	23,561
固定負債		
社債	36	20
長期借入金	3,093	2,318
退職給付引当金	2,145	2,324
その他	1,366	1,294
固定負債合計	6,642	5,956
負債合計	25,823	29,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,416	6,974
資本剰余金	94	3,652
利益剰余金	9,256	11,554
自己株式	△51	△260
株主資本合計	19,715	21,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	△68
繰延ヘッジ損益	3	△2
為替換算調整勘定	△2,331	△2,075
その他の包括利益累計額合計	△2,268	△2,146
新株予約権	128	96
少数株主持分	45	63
純資産合計	17,620	19,933
負債純資産合計	43,444	49,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	35,510	39,275
売上原価	20,216	22,394
売上総利益	15,294	16,880
返品調整引当金繰入額	135	122
差引売上総利益	15,159	16,758
販売費及び一般管理費	13,600	14,602
営業利益	1,559	2,155
営業外収益		
受取利息	26	13
受取配当金	42	41
持分法による投資利益	1,303	841
その他	71	83
営業外収益合計	1,444	979
営業外費用		
支払利息	196	146
その他	81	111
営業外費用合計	278	258
経常利益	2,725	2,877
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	2	1
固定資産受贈益	—	26
特別利益合計	3	28
特別損失		
固定資産処分損	0	8
投資有価証券評価損	13	—
店舗閉鎖損失	10	—
特別退職金	9	—
社葬費用	—	25
その他	8	2
特別損失合計	42	35
税金等調整前四半期純利益	2,687	2,869
法人税、住民税及び事業税	190	263
法人税等調整額	△15	△4
法人税等合計	175	259
少数株主損益調整前四半期純利益	2,512	2,610
少数株主利益	5	19
四半期純利益	2,507	2,591

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,512	2,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	△128
繰延ヘッジ損益	9	△5
為替換算調整勘定	△16	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△262	262
その他の包括利益合計	△372	121
四半期包括利益	2,139	2,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,135	2,713
少数株主に係る四半期包括利益	4	19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月28日開催の定時株主総会において、今後の柔軟かつ機動的な株主還元策およびその他の資本政策等を実施できる体制の確保を目的とする無償減資について決議し、平成24年7月30日付で無償減資を実施したことにより、資本金が3,500百万円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	17,037	10,899	4,286	32,223	3,287	—	35,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	7	1	15	242	△257	—
計	17,043	10,906	4,287	32,238	3,530	△257	35,510
セグメント利益又は損 失 (△)	3,450	△430	718	3,739	△158	△855	2,725

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,288百万円および持分法による投資利益1,303百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	18,526	13,581	4,137	36,244	3,030	—	39,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	0	11	40	283	△323	—
計	18,554	13,581	4,148	36,285	3,313	△323	39,275
セグメント利益又は損 失 (△)	3,528	△240	630	3,919	△188	△853	2,877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,832百万円および持分法による投資利益841百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 追加情報

(従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託（従業員持株会処分型）」における会計処理)

当社は、平成24年5月16日及び平成24年11月13日開催の取締役会決議に基づき、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託（従業員持株会処分型）」（以下、「株式給付信託」）の導入をしております。

当プランでは、「ゴールドウイン従業員持株会」（以下、「当社持株会」）へ当社株式を譲渡していく目的で設立する株式給付信託が、今後4年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を一括で取得し、その後、毎月一定日に当社持株会に売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社が株式給付信託の債務を保証しており、経済的実態を重視する観点から、当社と株式給付信託は一体であるとする会計処理を採用しております。従って、株式給付信託が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。このため、自己株式については、株式給付信託が所有する当社株式を自己株式に含めております。

なお、平成24年12月31日現在において株式給付信託が所有する当社株式数は318,000株であります。